

# サッカー活動の再開に向けて（要旨）

## 【基本的な考え】

1. 生命及び健康の安全・安心を最優先に判断します。  
選手、指導者、審判、運営者、観客が安全に活動できる環境を作り出します
2. 「新しい日常」「新しい生活様式」への適応を原則とします。
  - 参加者の毎日の検温を徹底します
  - 三密を避けるなど自己感染を回避します
  - ソーシャルディスタンスを踏まえた会場設定をします
  - 手洗いの徹底を呼びかけます
3. 児童生徒の参加や学校施設設備の使用については、実施地域の各教育委員会や各学校長が定める判断に従うことを基本とします。
4. 大会（事業）開催にあたっては、大会運営者、大会チーム・選手、審判員は、別紙チェックリストに則って、準備・運営・参加をすることとします。

## 【感染予防のポイント】

### （1）感染源

- ①発熱や風邪など体調不良がある場合には参加しない、会場にも行かないこと。
- ②毎試合前の健康チェックシートの提出で健康状態を確認する。
- ③会場に来てから咳や風邪の症状が見られる場合には、参加の見合わせてもらう。

### （2）感染経路

感染経路を絶つためには、以下の活動を徹底してもらう。

- ①手洗い
- ②咳エチケット
- ③消毒
- ④ソーシャルディスタンス
- ⑤マスクの着用

※ただし、熱中症予防の観点から、屋外で十分なソーシャルディスタンス（少なくとも2M以上）がとれる場合には、マスクを外すことも可能とする。

### （3）抵抗力を高めること

参加者は、日常からの起床時の検温を実施し、①適度な運動、②バランスのとれた食事、③十分な睡眠を心がける。

## 【事前の対応】

- (1) 運営者は、実施会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、参加者に対し、感染防止のために選手・スタッフ・審判員が遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求める。
  - 参加チーム用チェックリスト、審判用チェックリストの配布
  - 健康チェック表の配布
- (2) FA 及び参加チームはそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前、当日、事後にお互いが連絡を取り合える環境をつくる。感染対策責任者は大会に責任を持てる方を配置する。  
(種別委員長、チーム監督など)
- (3) 感染対策責任者が中心となって、チーム関係者のみならず、応援も含めた会場にいる方すべてに対しての安全への配慮（呼びかけ、注意、啓発）を行う。
- (4) 感染責任者の具体的な活動内容
  - 参加者の健康チェックシートの回収と内容のチェック、実施後4週間の保管(4週間後廃棄)
  - 感染対策責任者と両チームの感染対策責任者による事前ミーティングの実施
  - 必要な物品や会場表示物の設置
  - 感染防止対策の視点から運営者への指示・指導・助言・相談などの活動
  - 観戦者への注意喚起 等

## 【開催要項への記載事項】

- (1) 開催要項の「その他」に下記の事項を記載してください。
  - ①本競技会は大会期間を通じて感染対策責任者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策責任者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策責任者とミーティングを実施する。
  - ②新型コロナウイルス感染拡大による影響により、本要項上不都合な事態が生じた場合の対応については、室蘭地区サッカー協会の決定に従うこと。
  - ③新型コロナウイルス感染拡大防止のため、試合前・試合中・試合後における特別な措置が行われる場合は、その措置に従うこと。
  - ④別途定める新型コロナウイルス感染予防に関する事項をチーム内で周知し徹底すること。

## 【当日の対応】

### (1) 健康チェックシート（運営者・チームスタッフ・選手・審判員）について

- ①健康チェックシートの提出を求める。（会場到着時またはマッチミーティング時）
- ②忘れた場合、自身の健康状態を証明できない場合には基本的には参加できない。ただし、学校などで毎日チェックしていて、そのことを証明できる場合や、土日の連戦で、前日のチェックで証明できる場合にはその限りではない。その場合、会場にて検温をする。
- ③以下の方はどんな事情があっても参加できない。
  - 1日の間で37.5度以上の熱があった方
    - ※37.5度未満だから参加してもいいという意味ではない。平熱が低い方は、37.5度未満でも通常より1度以上高い場合は参加を控える。
  - 健康チェックシートに偽りの記載があった方（計り忘れた場合は斜線を引く）
  - 発熱がなくても、健康チェックシートの風邪の症状のチェック項目が多い方
    - \*過去2週間以内に発熱があったことのみを理由に参加できないということではないので、偽りの記載をしない。
- ④土日連戦が行われる場合は、両日ともチェック表を提出してもらうことを基本とする。ただし、土曜日に提出したチェック表に日曜日の体温を記入することで1枚に集約することは可能。体調不良がないことの確認はチームの感染対策責任者が、一人ずつ必ず行い提出する。

### (2) 観客・報道対応について

- ①当面、原則として、会場内へは観客を入れない。観客を入れないことを事前アナウンスする。観客入れる場合は下記のことが可能な場合とし、事前アナウンスを行う。
  - ・具合の悪い人は来場を見合わせてもらう
  - ・体温計による体温チェックを行なう。
  - ・マスクを着用してきてもらう。
  - ・各自2mの間隔をあける。
  - ・声を出しての応援をしない等の事前アナウンスを徹底する。
  - ・入場ゲートにアルコール消毒液を準備する。
- ③報道関係者からの取材依頼があった場合は、運営担当者を窓口とし、下記の対応をする。
  - ・体温チェック、アルコール消毒を行ない、マスクを着用してもらう。
  - ・写真撮影エリアを限定する。（ピッチ、ベンチより5M以上近づかないことを制限）
  - ・チーム、選手に取材する場合は、距離を取り、エリアを制限し、短時間でこなってもらう。